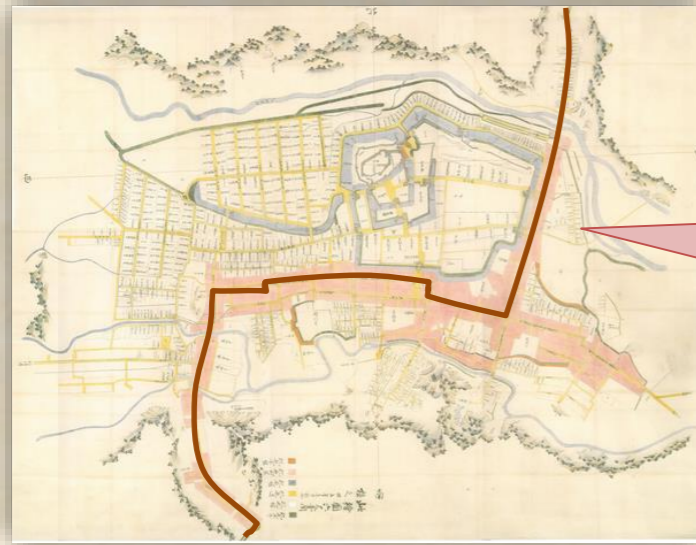


◆国道294号の歴史

白河市内の国道294号は、かつて奥州街道(明治以降は陸羽街道)と言われる歴史ある街道筋です。

現在の道筋は、1627年に白河藩が成立し初代藩主となった丹羽長重(にわながしげ)が城下町の再整備や奥州街道のルート変更を行い、現在の中心市街地の基礎を築いたとされており、現在に至るまでほぼ変わることなく幹線道路としての役割を担ってきたルートです。



奥州白河城下全図(白河市歴史民俗資料館蔵)

奥州街道の道筋がほぼそのまま、現在の国道294号となっています。

◆国道294号のいま

車社会となった現代にあっては、白河市内では城下町の名残からクランク状の曲がり角が多く、また十分な歩道幅も取れないことから、自動車交通並びに歩行空間の安全性が確保できない状況となっています。

市内での安全な通勤・通学や日常生活での利便性確保、観光客を招き入れての地域活性化、広域的で安定した物流などを実現するため、歴史ある街道筋を残しつつ新たな白河市内の骨格をなす道路として、白河市を南北に縦断する国道294号白河バイパスを平成30年代前半の供用開始を目指し整備しています。



道路交通が集中し渋滞が頻発



道幅が狭く歩行空間が不十分

国道294号白河バイパス

白河バイパス整備事業・現道拡幅事業
【福島県白河市南湖～豊地】



(仮称)五郎窪トンネル



(仮称)新田町大橋

福島県県南建設事務所



お問い合わせ先
福島県県南建設事務所 事業部 道路課
〒961-0971 白河市昭和町269番地
(電話) 0248-23-1673
(FAX) 0248-23-1504
(URL) <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41330a/>

国道294号白河バイパス整備事業 L=4,120 W=6.5(13.0~30.0)m

国道294号現道拡幅事業
豊地工区 L=1,800m W=6.5(10.5)m

